みつけたみよしの
はつらつさん

ゲートボールに出会えて幸せ

原田　輝之さん（三好下）

友人に誘われて7年前から始めたゲートボールが、今では生活の中心となっている原田さん。週3回、西部地区コミュニティ広場で仲間と一緒に練習に励んでいます。「ゲートボールは人の輪が大切なチームスポーツ。みんなで楽しくやっています。仲間に迷惑をかけないように練習や試合は休まないという目標があるので、毎日緊張感とリズムのある生活が送れています」と話します。

ゲートボールを始めてからほとんど風邪をひかなくなり、さらに長年患っていた腰痛も和らいだそうです。「まさにゲートボール効果。このスポーツに出会えてとても幸せです。競技人口が増え、代々つながっていけばうれしいですね」とにっこり。

これからもゲートボールへの情熱を持ち続け、いつまでも元気に楽しんでプレーしてください。

▶▶▶プロフィル

はらだ・てるゆき　昭和8年生まれ。趣味は陶器鑑賞や彫刻、版画など。毎年、版画で手作りの年賀状を作成。陶器鑑賞では石川県や滋賀県へ車を走らせ足を運ぶことも。

原田さんの彫刻作品の一つ

がんばれ！
みよしっ子

南中学校 女子バレーボール部

今回は南中学校の女子バレーボール部を紹介します。顧問の水野克弘先生とキャプテンの鈴木利沙恵さんに話を伺いました。

「練習に気合を入れるため自分から元気に掛け声を出すように心掛けています。『明るさと元気はどこにも負けない』がわたしたちのモットーです」と話す鈴木さん。朝の練習は筋力トレーニングや走り込みなどの基礎体力づくり、放課後は体育館でレシーブやアタックなどの基本を中心に、部員17人が一丸となって練習に励んでいます。

厳しく指導しながら温かく見守る水野先生。「みんな熱心に練習に取り組んでいますが、まだ粘り強さが足りません。精神力を鍛え、ボールコントロールなどの技を磨き、早い攻撃ができるようになってほしいです」とエールを送ります。

一人一人が厳しい練習の中で培ってきたくじけない気持ちを大切に「最後まであきらめないプレーで夏の西三河大会出場が目標です」と大会を見据え、鈴木さんは抱負を話します。

HIMAWARI
お誕生日コーナーの応募者で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク・さんさんチャンネル「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

おめでとうおたんじょうび 2月

『三輪車の達人！』
大きな働く車が大好きなたくとくん。三輪車も上手に乗れて、誰よりも早いスピードでこげるんだよ。5歳の颯馬(そうま)お兄ちゃんや友達と一緒に遊んで、楽しかったことをいつもお母さんに話してくれるたくとくんに「このまま明るく健康な子でいてね」とお母さん。

山内(やまうち) 拓人(たくと)くん(中島)
平成16年2月20日生
父・宏紀さん　母・香織さん

『いつでも元気いっぱい』
いつもにこにこ笑顔のゆめちゃん。洗い物をするお母さんのまねをするんだって。公園で遊んだり、お父さんと追い掛けっこをしたりして元気いっぱい。スプーンできれいにご飯を食べることができるゆめちゃんに「穏やかで女の子らしい子でいてね」とお母さん。

柘植(つげ) 友萌(ゆめ)ちゃん(西一色)
平成17年2月28日生
父・一也さん　母・輝美さん

出場者募集

【4月のお誕生日コーナー】
▼応募期間＝3月1日から5日まで(土・日曜日を除く)
▼対象＝4月生まれで3歳未満の児
▼応募方法＝広報情報課へ電話で☎(32)8357
※2月生まれの応募は、14人でした。

みよし文芸

Miyoshi no Bungei

俳句

暮早し鍵穴探す手暗がり　太田　芙美子
天神の絵馬を鳴らして北風強し　山田　年子
千枚田短日の影駆け上がる　光岡　秋生
初芝居爆笑王の泣き笑い　野々山　重夫

短歌

肩たたき一、二、三と幼子は五ツ数えてもういいかと聞く　小野田　のり子
あす退院つげし君なりあの笑顔一期の別れとなして思わむ　岡本　君子
鼓の音せしと伝わる鼓ケ滝細くひそけく滝壺を打つ　梶山　とし子

狂俳

若水　近藤　正月
輝く年の希望汲む
折ヘワカミ　林　美希
和に睦む雅友初句座三好巻
若やぎ　鈴木　典章
妻も羽根突く仲に居る

大技の数々に目が釘付け

こま回しの会（なかよし保育園）

昔から伝わる日本の遊びを知って楽しんでもらおうと1月18日、こま回しの会がなかよし保育園で行われました。日本独楽博物館の「たけちゃん」こと武田勉さんが見せるけん玉やヨーヨー、こまの大技の数々に95人の園児たちの目は釘付け。「すごい」と歓声を上げ拍手を送っていました。その後、園児たちはたけちゃんにこつを教わってこま回しに挑戦。初めてこまを回せた男の子は「たけちゃん見て見て」と大喜びしていました。

待望の校歌が完成

三好丘中学校校歌発表会

昨年開校した三好丘中学校の校歌発表会が1月22日、三好丘中学校で行われました。初めに磯村節男校長が「本校の生徒であることに自信と誇りを持ち、心を込めてこの素晴らしい校歌を歌い続けてください」とあいさつ。その後、作詞を手掛けた金沢智恵子さんが歌詞に込められた思いを語り、歌詞を朗読しました。続いて、作曲を担当した長谷部匡俊さんの指揮の下、全員で校歌を斉唱。三好丘中学校に新たな歴史を刻みました。

体力の限界に挑戦

三好町スポーツ少年交流大会

三好町スポーツ少年交流大会が1月21日、三好公園総合体育館で開かれました。町内のスポーツ少年団同士の交流とスポーツ活動の活性化を目的にしたこの大会。野球やソフトバレーの8団体およそ250人は、立幅跳びや5分間走、上体起こしなど5種目で自分の体力の限界に挑戦しました。その後、昼食のカレーライスを食べて交流。男の子の一人は「記録が伸びなかったので、次はもっと頑張ります」と張り切っていました。

テーマを決めて実践

総合的な学習（北中学校）

北中学校の1年生が1月25日、「総合的な学習」で地域貢献活動を行いました。学年やクラスでテーマを決め、各班ごとに分かれて実践するこの取り組み。ある班は、学級テーマ「身の回りの環境について考える」の下、強い風に悪戦苦闘しながら三好丘桜公園の遊具のペンキ塗りを手分けして行いました。女子生徒の一人は「思っていたよりも大変な作業でした。次回はもっとうまくできると思います」と意欲的でした。

空高く舞い上がれ

たこ揚げ大会（東山幼稚園）

東山幼稚園のたこ揚げ大会が1月25日、三好公園陸上競技場で行われました。これは日本伝統の遊び「たこ揚げ」を通して、寒さに負けず外で元気に遊んでもらおうと毎年行っているもの。およそ170人の園児たちは、思い思いの絵を描いたたこを手にグラウンドを駆け回り「飛んだ、飛んだ」と大喜びしていました。最後は全員で一斉に揚げようと、横一線に並んでグラウンドの端から端まで走り、みんな夢中で楽しんでいました。

手造りみそに挑戦

ふれあい講座「みそ造り」

地元産の大豆を使ってみそ造りを体験してもらおうと1月31日、さんさんの郷でふれあい講座が開かれました。参加した6人は講師の「さんさんくらぶ」のメンバーから造り方の説明を受けた後、さっそく作業を開始。2種類の麹（こうじ）と塩、圧力鍋にかけた大豆でみそのもとを造りミンチ状にした後、煮汁を加えて保存用の容器に詰めました。またカビ防止用の塩座布団の作り方も紹介され、半年後の出来上がりに期待を膨らませていました。